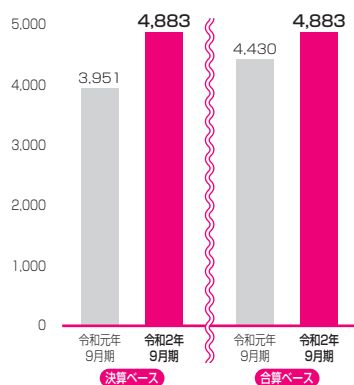


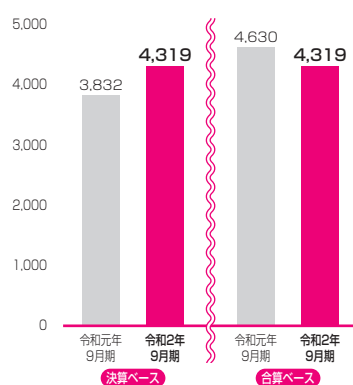
業績の概況（単体）

- 決算ベースでは、合併に伴い貸出金利息が増加したこと等により、銀行の本業の収益を示すコア業務純益は前年同期比932百万円増加して4,883百万円、経常利益は前年同期比487百万円増加して4,319百万円、中間純利益は前年同期比135百万円増加して2,919百万円となりました。
- 合算ベースでは、コア業務純益は経費が減少したこと等により、前年同期比453百万円増加して4,883百万円となりました。経常利益は与信関連費用が増加したことから、前年同期比311百万円減少して4,319百万円となり、中間純利益は、前年同期比467百万円減少して2,919百万円となりました。

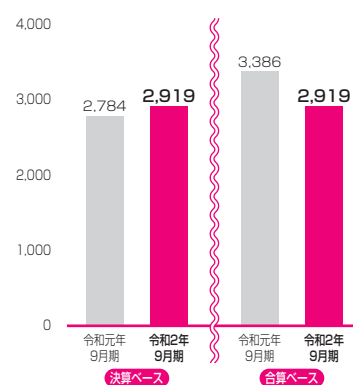
■ コア業務純益（単位：百万円）



■ 経常利益（単位：百万円）



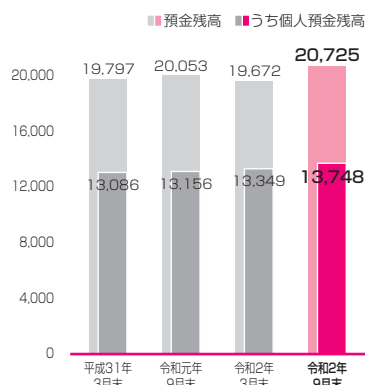
■ 中間純利益（単位：百万円）



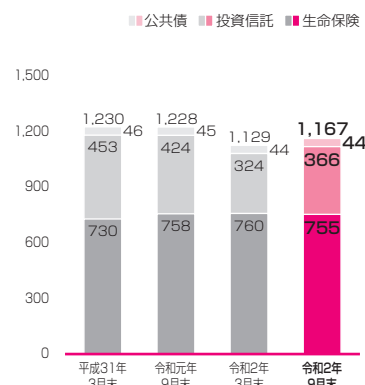
1. 決算ベースの損益は、令和2年1月以降の徳島大正銀行の計数と、平成31年4月から令和元年12月までの旧徳島銀行の計数を合算しています。
2. 合算ベースの損益は、令和2年1月以降の徳島大正銀行の計数と、平成31年4月から令和元年12月までの旧徳島銀行及び旧大正銀行の計数を単純合算しています。

- **預金残高**／個人預金、法人預金ともに増加したことにより、預金残高は前期末比1,053億円増加して2兆725億円となりました。
- **預り資産残高**／投資信託の残高が増加したことから、預り資産残高は前期末比38億円増加して1,167億円となりました。
- **貸出金残高**／新型コロナウイルス感染症対応融資をはじめ、中小企業及び個人向け貸出等に積極的に取り組んだ結果、貸出金残高は前期末比446億円増加して1兆6,747億円となりました。

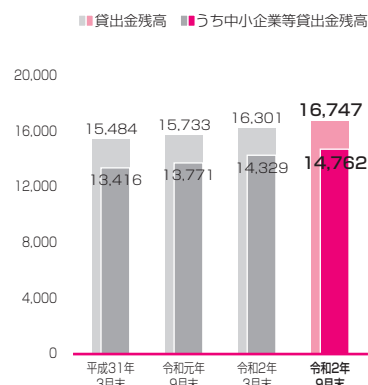
■ 預金残高（単位：億円）



■ 預り資産残高（単位：億円）



■ 貸出金残高（単位：億円）



令和2年3月末及び令和2年9月末は、徳島大正銀行の計数、平成31年3月末及び令和元年9月末は、旧徳島銀行と旧大正銀行の計数を単純合算しています。